

第16回地域がん診療連携拠点病院 埼玉医科大学総合医療センター 市民公開講座開催報告

令和7年3月24日（土）にウェスタ川越2階活動室1・2で第16回地域がん診療連携拠点病院埼玉医科大学総合医療センター市民公開講座を開催いたしました。

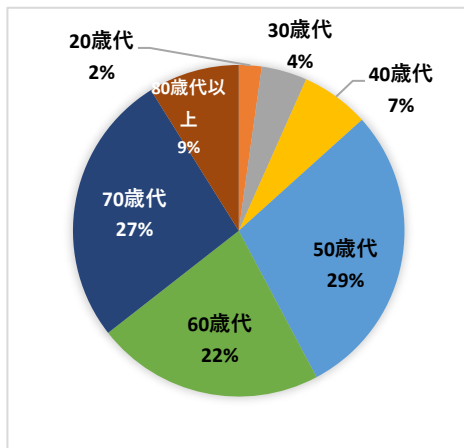
石田副院長による開会挨拶と地域がん診療連携拠点病院とがんゲノム診療連携病院についての説明の後に、当院ゲノム診療科准教授母里淑子先生より「埼玉医科大学総合医療センターにおけるがんゲノム医療」の紹介がされました。次に、国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター(C-CAT)センター長、研究所ゲノム生物学研究分野 分野長 河野隆志先生より「がん遺伝子パネル検査のこれまでとこれから、データの利用法」のタイトルでご講演を頂きました。

河野先生のご講演概要は次の通りです。がんとは主に遺伝子の変化（変異）によっておこる病気で、たくさんの遺伝子の変異を一度に調べ、がん細胞の特徴を知り、個々の患者さんに適した治療法を検討する、がん遺伝子パネルにより遺伝子スクリーニングについて、日本のがんゲノム医療は、遺伝子変異のもとづいた治療＝がんの特徴を分かって治療されるが、これらは国民皆保険でカバーされ、治験へのアクセスも期待できる。自身のデータが将来の医療に活かされる等詳細について、とてもわかりやすく解説して頂きました。

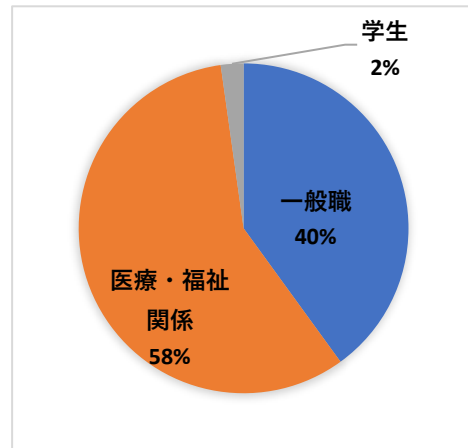
次にアンケート集計結果をご報告させていただきます。

アンケート結果

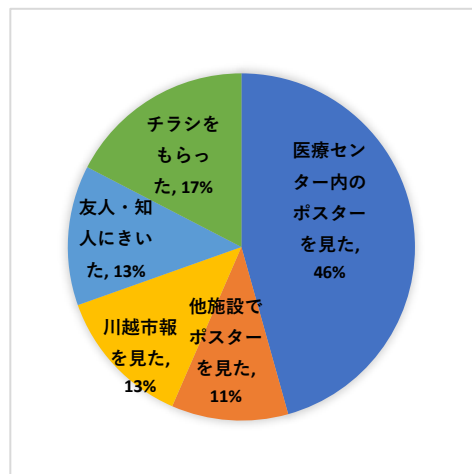
1. ご年齢は



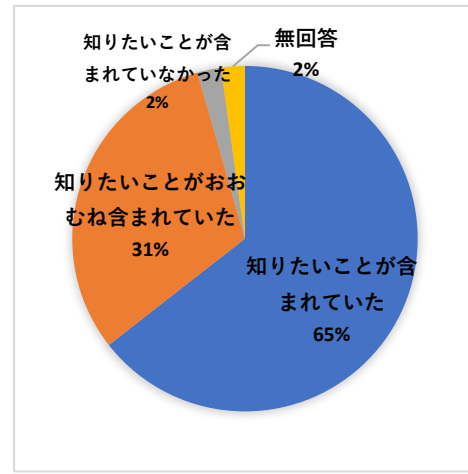
2. ご職業は



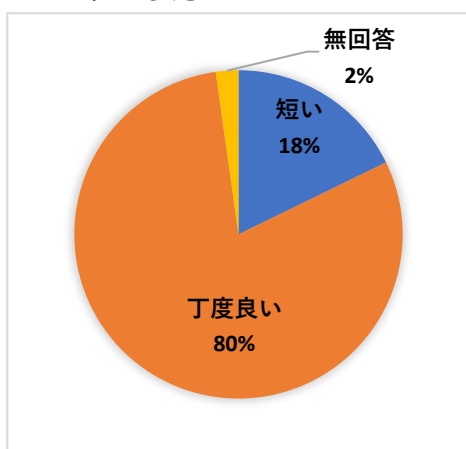
3. 今回の市民講座はどこで知りましたか



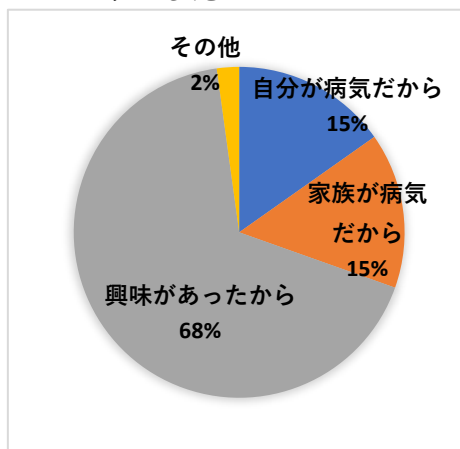
4. 参加の動機は何ですか



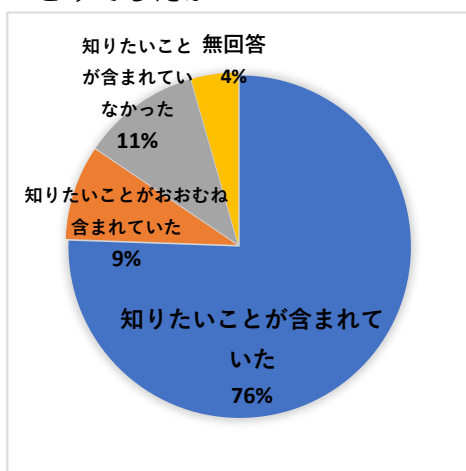
5.基調講演(母里先生)の講演内容は
 どうでしたか



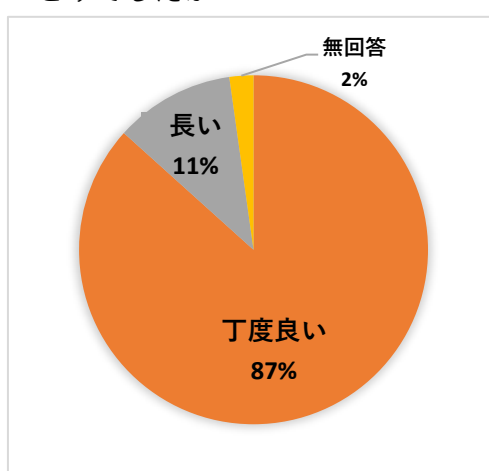
6.基調講演(母里先生)の時間は
 どうでしたか



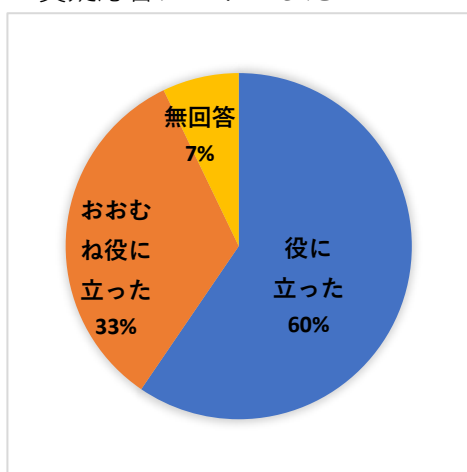
7.特別講演(河野先生)の講演内容は
 どうでしたか



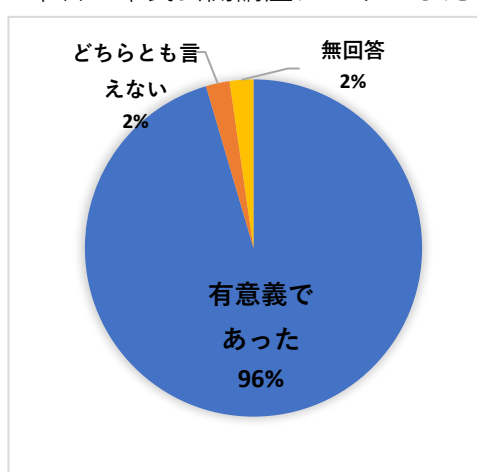
8.特別講演(河野先生)の時間は
 どうでしたか



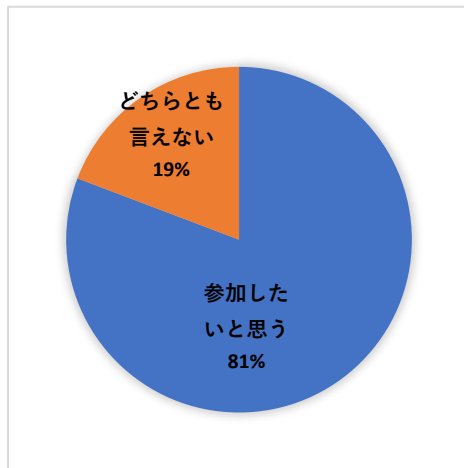
9.質疑応答はどうでしたか



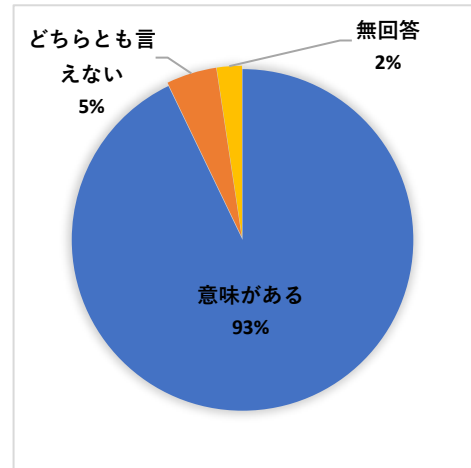
10.本日の市民公開講座はどうでしたか



11.次回の市民公開講座に
参加したいと思いますか



12.今後がんに関する市民講座を
継続することに意味がある



13.参加しやすい開催形式について教えてください

